

平成23年3月 第104回

大野・勝山地区広域行政事務組合議会 定例会 会議録（第1日）

平成23年 3月28日（月）  
午前10時00分 開議

1. 議 事 日 程

第1 議長の選挙

第2 議席の指定

第3 会議録署名議員の指名

第4 会期の決定

第5 議案の提案理由の説明

議案第1号 平成23年度大野・勝山地区広域行政事務組合一般会計予算

議案第2号 平成23年度大野・勝山地区広域行政事務組合ふるさと市町村圏  
振興事業特別会計予算

議案第3号 平成22年度大野・勝山地区広域行政事務組合一般会計補正予算  
(第3号)

議案第4号 大野・勝山地区広域市町村圏計画懇話会設置条例の廃止について

2. 出 席 議 員（10名）

1番	門 善孝君	2番	倉田源右エ門君
3番	加藤一二君	4番	安居久繁君
5番	廣田與三次郎君	6番	山崎利昭君
7番	永田正幸君	8番	前田政美君
9番	川端義秀君	10番	高岡和行君

3. 説明のため出席した者

管理者 山岸正裕君 副管理者 岡田高大君

参 事 松 村 誠 一 君

参 事 下 河 育 太 君

愛護センター  
所長 梅 田 幸 重 君

秘書政策局長 江 波 庄 進 君

企画財政部長 橋 脇 孝 幸 君

事務局長 福 田 豊 彦 君

事務局次長 柳 原 正 夫 君

#### 4. 書 記

書記長 鳥 山 昌 久

書記長補佐 鳥 山 健 一

書 記 椿 山 浩 章

## 5. 議事

(午前10時20分 開会)

○ 副議長（倉田源右エ門君）

おはようございます。

議長が欠員となっておりますので、議長が選挙されるまでの間、私、副議長が議事を進行させていただきますので、よろしく願いいたします。

これより、平成23年3月第104回大野・勝山地区広域行政事務組合議会定例会を開会いたします。

本日の議事日程は、お手元にお配りしたとおりであります。

直ちに本日の会議を開きます。

この際、諸般の報告をいたします。

理事者の酒井会計管理者が今定例会に出席できない旨、報告がありましたので、お知らせしておきます。

次に、大野市議会議員の任期が2月20日に満了となり、2月22日、大野市議会において新たに山崎利昭議員、永田正幸議員、前田政美議員、川端義秀議員、高岡和行議員が大野・勝山地区広域行政事務組合議会議員として選出されましたので、ただいまから御紹介申し上げます。

山崎利昭君、御起立を願います。

○ 6番（山崎利昭君）

山崎利昭でございます。どうぞよろしく願いいたします。

○ 副議長（倉田源右エ門君）

永田正幸君、御起立を願います。

○ 7番（永田正幸君）

永田正幸でございます。よろしく願いいたします。

○ 副議長（倉田源右エ門君）

前田政美君、御起立を願います。

○ 8番（前田政美君）

前田政美でございます。よろしく願い

ます。

○ 副議長（倉田源右エ門君）

川端義秀君、御起立を願います。

○ 9番（川端義秀君）

川端義秀です。よろしく願いいたします。

○ 副議長（倉田源右エ門君）

高岡和行君、御起立を願います。

○ 10番（高岡和行君）

高岡です。よろしく願いいたします。

○ 副議長（倉田源右エ門君）

以上で御紹介を終わります。

この際、議事の進行上、新たに当組合議会議員となられた5名の諸君の仮議席を指定いたします。

仮議席は、ただいま御着席の議席を指定いたします。

次に、議会運営委員として、山崎利昭君、前田政美君の2名が就任され、先刻開かれた議会運営委員会において互選の結果、副委員長に前田政美君が選任された旨、申し出がありましたので、あわせて報告いたしておきます。

以上で、諸般の報告を終わります。

これより、日程に入ります。

ただいま、議長が欠員となっております。

よって、日程第1「議長の選挙」を行います。

お諮りいたします。

選挙の方法については、地方自治法第118条第2項の規定により、指名推選により行いたいと思います。

これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ声あり）

○ 副議長（倉田源右エ門君）

御異議なしと認めます。

よって、選挙の方法は指名推選によることに決しました。

お諮りいたします。

それでは、議長において指名することにいたしましたと思いますが、これに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ声あり)

○ 副議長(倉田源右エ門君)

御異議なしと認めます。

よって、議長において指名することに決しました。

大野・勝山地区広域行政事務組合議会議長に、高岡和行君を指名いたします。

お諮りいたします。

ただいま議長において指名いたしました、高岡和行君を当選人と定めることに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ声あり)

○ 副議長(倉田源右エ門君)

御異議なしと認めます。

よって、高岡和行君が大野・勝山地区広域行政事務組合議会議長に当選されました。

ただいま大野・勝山地区広域行政事務組合議会議長に当選されました高岡和行君が議場におられますので、会議規則第32条第2項の規定により、本席から告知いたします。

ここで、議長に当選されました高岡和行君よりあいさつをお受けします。

(議長 高岡和行君 登壇)

○ 議長(高岡和行君)

高岡和行でございます。一言、ごあいさつをさせていただきますと思います。

今ほどは、議員の皆様方の御支持を賜りまして、議長にさせていただきました高岡でございます。

何分、ふなれではございますけれども、大野・勝山両市の抱える問題、諸問題、多数あるかと思っておりますけれども、皆様方の御意見をちょうだいしながら、また両市の理事者の皆様方と御相談をさしあげながら、円滑に進めさせていただけたらなと思っておりますので、今

後ともどうかよろしく願いいたします。

短いごあいさつでございますけれども、よろしく願いしたいと思います。どうもありがとうございました。

(拍手)

○ 副議長(倉田源右エ門君)

会議の途中であります、議長交代のため、暫時休憩いたします。

(休憩 午前10時26分)

(再開 午前10時27分)

○ 議長(高岡和行君)

休憩前に引き続き、会議を開きます。

日程第2「議席の指定」を行います。

新たに当組合議会議員となりました5名の諸君の議席については、会議規則第4条第2項の規定により、議長において指名いたします。

議員諸君の指名と、その議席の番号を職員に朗読いたさせます。

書記長、鳥山君。

○ 書記長(鳥山昌久君)

それでは、命により朗読いたします。

6番 山崎利昭議員

7番 永田正幸議員

8番 前田政美議員

9番 川端義秀議員

10番 高岡和行議員

以上でございます。

○ 議長(高岡和行君)

ただいま朗読したとおり、議席を指定いたします。

次に、日程第3「会議録署名議員の指名」を行います。

会議録署名議員は、会議規則第73条の規定により、議長において、

5番 廣田與三次郎君

6番 山崎利昭君  
の両名を指名いたします。

次に、日程第4「会期の決定」を議題といたします。

お諮りいたします。

本定例会の会期につきましては、先刻、議会運営委員会において協議の結果、本日から30日までの3日間とすることで意見の一致をみておりますので、そのようにいたしたいと思っております。

これに御異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ声あり)

○ 議長(高岡和行君)

御異議なしと認めます。

よって、会期は本日から30日までの3日間と決定いたしました。

次に、日程第5、

議案第1号 平成23年度大野・勝山地区広域行政事務組合一般会計予算

議案第2号 平成23年度大野・勝山地区広域行政事務組合ふるさと市町村圏振興事業特別会計予算

議案第3号 平成22年度大野・勝山地区広域行政事務組合一般会計補正予算(第3号)

議案第4号 大野・勝山地区広域市町村圏計画懇話会設置条例の廃止について

以上の4件を一括議題といたします。

提案理由の説明を求めます。

管理者、山岸君。

(管理者 山岸正裕君 登壇)

○ 管理者(山岸正裕君)

おはようございます。

第104回大野・勝山地区広域行政事務組合議会定例会の開会に当たり、当広域行政事務組合の主要な事業の取り組み状況について申し述べますとともに、ただいま上程されまし

た平成23年度当初予算案をはじめとする各議案の御説明を申し上げます。

はじめに、今議会から大野市議会より山崎利昭議員、永田正幸議員、前田政美議員、川端義秀議員、高岡和行議員が新たに当広域行政事務組合議員として選出されました。御就任の各議員におかれましては、当圏域発展のため、今後なお一層のお力を賜りますようお願いを申し上げます。

また、いまほどの議長選挙におきましては、議員各位の信任を受けられました高岡和行氏が議長に当選されました。当組合議会の円滑な運営に御尽力をいただきますようお願いを申し上げます。

3月11日に三陸沖を震源地として発生した東北地方太平洋沖地震は、マグニチュード9.0という国内観測史上最大の巨大地震であり、強い揺れと津波は東北地方を中心に甚大なる被害を引き起こしました。

亡くなられた方々の御冥福と、被災者の皆様にお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い復興を願っております。

また、この冬は平成18年豪雪を越える大雪となり、圏域内では亡くなられた方4名、負傷者29名の人的被害があり、家屋等への被害も多数発生し、改めて災害の怖さを感じたところでもあります。

本年度は、越前大野城築城430年、恐竜博物館開館10周年、ゆめおーれ勝山開館1周年などの数々のイベントが両市において開催され、当圏域に多くの観光客が訪れました。これを契機に、圏域内の魅力ある観光地や観光施設、おいしい水から生まれるおいしい食を広く発信し、さらに多くの観光客に奥越前を訪れていただけるよう、取り組んでいきたいと考えております。

そのためにも、圏域の発展に不可欠な中部縦貫自動車道の早期全線開通や、広域観光幹

線道路の整備を国や県に強く要望していくことが重要であります。

それでは、当広域行政事務組合の今年に入ってからからの主な事業の取り組み状況につきまして、その概要の御報告を申し上げます。

まず、一般廃棄物処理施設管理運営事業について申し上げます。

中間処理施設でありますビュークリーンおくえつでは、平成22年度実績といたしまして、2月末現在で前年度並みの1万9,200トン余りを受け入れておりまして、ダイオキシン類をはじめとした各種測定値も基準を遵守して、順調な稼働を続けているところであります。

施設の設備は5年目となり、補修整備が本格的な段階を迎えており、損耗の進みぐあいを見きわめながら、耐火物の補修や部品交換を実施するなど、計画的な整備に取り組んでおります。

次に、最終処分場であるエコバレーは、直営運転となり1年が経過いたしました。引き続き、水質の改善や計画的な雨水排除対策に取り組んでおり、順調に推移いたしております。

両市におきましては、第五次総合計画などにおいて、ごみの減量など環境的な取り組みが計画されております。これを受けまして、当組合においても、両市と合わせてごみ減量化について検討を行い、事業者に対するごみの分別徹底の周知と、新たなシュレッダー紙くずのリサイクルの取り組みを進めているところであります。

今後も、ごみの中から新たに資源化できるものがないか情報を収集し、検討に努め、圏域内の住民の環境、福祉の向上に向け、両市と協力して努めてまいります。

次に、介護保険認定審査会及び障害者介護給付市町村審査会運営事業について申し上げます。

まず、平成23年度から2年間を任期とする審査会委員20名につきまして、奥越管内の有識者の方々に過日委嘱を行ったところであります。

介護保険認定審査会の平成22年度実績は、2月末現在で審査会を120回開催し、延べ3,511人の認定者数となっております。これは昨年同期に比べ、279人多くなっております。

また、障害者介護給付市町村審査会の平成22年度実績は、2月末現在で審査会を19回開催し、79人の障害程度区分の審査を行っております。高齢化の進展に伴い、介護に対するニーズが増大する中、国の認定基準に沿った公平、公正かつ適正な審査を行うとともに、審査会の円滑な運営と事務の効率化を図ってまいります。

次に、青少年健全育成事業について申し上げます。

奥越青少年愛護センターでは、青少年の非行防止のため、170名の補導委員を中心に、地域に密着した街頭補導と愛の一声運動を推進しているほか、青少年指導員による面接及び電話による相談活動などを実施しております。

愛の一声運動では、平成22年度の実績といたしまして、2月末現在で645人への声かけ、相談活動では面接相談が14件、電話相談が71件で、性や異性、学校生活に関する相談が全体の7割を超え、相談者の大半は高校生及び保護者となっております。

また、青少年を取り巻く社会環境の実態を把握するため、奥越管内の書店やレンタルショップに対しまして、有害図書、有害ビデオ等の取り扱いについて実態調査を行い、売り場環境の改善要請や指導を行ったところでございます。

平成22年度善行青少年表彰につきましては、

社会福祉や環境美化など、すぐれたボランティア活動に取り組んだ児童・生徒3名と13の団体を顕彰いたしましたところであります。

今後とも、地域や関係機関等と連携を図りながら、青少年の健全育成と非行防止のための各種取り組みに努めてまいります。

次に、広域観光推進について申し上げます。

九頭竜テラル高原推進協議会では、スキーズーンの誘客のために、主に若いファミリー層を対象とした「家族で雪遊びはじめよう」キャンペーンを実施し、県内を中心に5,081件の応募があり、抽せんで120組に圏域内5スキー場の共通リフト券をプレゼントいたしました。

また、奥越前観光連盟では、群上市観光連盟との共催により第12回「なれずし・漬物・味自慢大会」を1月に郡上市において開催しました。

この大会は、両地域共通の冬の家庭料理として根づいているなれずし、漬物、酢の物の3部門での創作料理を競うもので、本年度は66品の出品があり、そのうち圏域内から43点が出品されました。

大会当日は、出品者をはじめとした約150人が参加し、盛大に開催され、試食会ではいろいろな味を楽しみました。

次回は奥越で開催される予定であります。

22年度から加入しました福井坂井奥越広域観光圏推進協議会では、中国語と韓国語のパンフレット作成、外国人観光客受け入れのための研修会の開催や、格安で広域観光圏内の観光施設24カ所すべてに入館できる「ふくきた王国手形」や、えちぜん鉄道全線と京福バスを2日間乗り放題で利用できる「ふくきた王国2日間フリー切符」を発行しました。

また、圏域内の6市町全体を網羅した「ふくきた王国周遊マップ」や、おいしい食べ物を紹介した冊子「ふくきた王国体感物語」を

作成いたしまして、東京、名古屋、大阪などで開催された観光物産展等で観光宣伝に活用するなど、広域観光圏内にある多くの魅力ある観光素材の連携により、観光誘客と周遊、滞在促進事業を実施いたしております。

今後も、事業の企画、実践、検証といった一連の流れを奥越前観光連盟とともにしながら、大野市、勝山市、さらに両市の観光協会と連携いたしまして、効果的な広域観光を推進してまいりたいと考えております。

それでは、本定例会に提出の各議案等の概要について御説明を申し上げます。

平成23年度一般会計予算は、ごみ処理施設や最終処分場の補修整備費の減などにより12億87万5,000円を計上しており、前年度当初予算より2,053万円の減となっております。

また、ふるさと市町村圏振興事業特別会計予算では、574万1,000円を計上しており、前年度当初予算より160万2,000円の増となっております。

その他の議案は、平成22年度一般会計補正予算案と、広域市町村圏計画懇話会設置条例を廃止する条例案についてであります。これらの議案について、後ほど事務局長からその詳細を説明させますので、よろしく御審議の上、妥当な御決議を賜りますようお願いを申し上げます。

○ 議長（高岡和行君）

事務局長、福田君。

（事務局長 福田豊彦君 登壇）

○ 事務局長（福田豊彦君）

上程されました議案第1号から議案第4号につきまして、順次御説明申し上げます。

最初に、

議案第1号 平成23年度大野・勝山地区広域行政事務組合一般会計予算についてであります。

第1条、歳入歳出予算の総額を、歳入歳出

それぞれ12億87万5,000円と定めるものがございます。予算総額は、前年度当初比2,053万8,000円、1.7%の減となっております。

第2項 歳入歳出予算の款項の区分及び当該区分ごとの金額は、第1表 歳入歳出予算にて後ほど御説明申し上げます。

第2条 地方自治法第235条の3、第2項の規定による一時借入金につきましては、最高限度額を昨年度と同額の1億5,000万円と定めるものがございます。

歳入歳出の流用につきましては、第3条の記載のとおりでございます。

次に、1ページをお開き願います。

第1表 歳入歳出予算の歳入から御説明いたします。

1款 分担金及び負担金10億7,516万9,000円は、大野市、勝山市からの負担金であります。ごみ処理施設及び最終処分場における管理運営経費等の縮減によりまして、前年度比3,185万9,000円、2.9%の減となっております。

2款 使用料及び手数料5,312万1,000円の主なものは、一般廃棄物持ち込み手数料であります。前年度比300万1,000円、6.0%増を見込んでおります。

3款 国庫支出金31万5,000円は、障害者介護給付市町村審査会事業に対します国からの補助金でございます。

4款 県支出金429万7,000円は、県からの派遣職員に係る人件費及び愛護センター事業に対する県からの補助金でございます。

5款 財産収入76万9,000円は、減債基金の利子収入でございます。

6款 繰入金は、2,700万1,000円を計上しておりますが、減債基金から繰り入れまして、公債費の起債償還金に充てるものがございます。

7款 繰越金では、費目設定のため1,000

円を計上しております。

8款 諸収入4,020万2,000円を計上しております。アルミや破碎鉄などの再資源化物売却代金が主であります。このところの金属市況の上向きによりまして、前年度比841万3,000円、26.5%の増を見込んでおります。

次に、2ページ、歳出について御説明いたします。

1款 議会費49万3,000円は、組合議会の運営に関する経費でございます。

2款 総務費の6,979万9,000円は、職員人件費及び行政事務費、青少年愛護センター経費、特別会計繰出金などがございます。前年度比505万7,000円、6.8%の減となっております。その主なものは、職員の嘱託化による人件費の減でございます。

3款 民生費の1,119万3,000円は、介護認定審査会及び障害者介護給付市町村審査会の運営に関する経費を計上してございます。

4款 衛生費6億6,799万円は、主にガス化溶融施設やリサイクルプラザ、最終処分場の運営管理に要する経費であります。前年度比1,486万4,000円、2.2%の減となっております。減額の主な内容につきましては、施設用消耗品や燃料費が増えたものの、光熱水費、施設修繕料、水処理薬品代、こういったものが縮減されたことによりまして。

新規といたしましては、運搬車両の更新と最終処分場での土えん堤設計業務委託を計上しております。

次に、5款 公債費4億5,090万円は、一般廃棄物処理事業債の元利償還金を計上しており、前年度と同額となっております。

6款 予備費は、前年度と同額の50万円を計上しております。

続きまして、

議案第2号 平成23年度大野・勝山地区広域行政事務組合ふるさと市町



## 村圏振興事業特別会計予算

につきまして説明を申し上げます。

第1条 歳入歳出予算の総額を、歳入歳出それぞれ574万1,000円と定めるものとさせていただきます。

内容につきましては、第1表 歳入歳出予算にて御説明を申し上げます。

1 ページをお開き願います。

歳入から御説明いたします。

1 款 財産収入165万円は、ふるさと市町村圏基金の利子収入で、前年度と同額としております。

2 款 繰入金409万円は、一般会計からの繰入金で、前年度比160万2,000円の増となっております。これは、昨年度加入いたしました福井坂井奥越広域観光圏推進協議会の負担金などでございます。

3 款 繰越金は、1,000円を計上しております。

次に、同じく1 ページ、歳出について御説明いたします。

1 款 総務費7万2,000円は、事務費等でございます。

2 款 ふるさと市町村圏振興事業費566万9,000円は、主に環白山観光推進協議会、並びに福井坂井奥越広域観光圏推進協議会への負担金、また奥越前観光連盟、九頭竜テラル高原推進協議会への補助金でございます。前年度比160万7,000円の増となっております。

次に、

議案第3号 平成22年度大野・勝山地区広域行政事務組合一般会計補正予算（第3号）

であります。今回の補正は決算見込みによる所要の補正をお願いするものでございます。

第1条 既定の歳入歳出予算の総額から、歳入歳出それぞれ1,655万8,000円を減額し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ12億

1,941万2,000円とするものとさせていただきます。

内容につきましては、第1表 歳入歳出予算補正にて御説明いたします。

1 ページをお開き願います。

歳入から説明いたします。

1 款 分担金及び負担金ですが、衛生費等の決算見込みにより、大野市、勝山市からの負担金を3,760万円減額するものとさせていただきます。

2 款 使用料及び手数料は、一般廃棄物持ち込み手数料の実績増により、400万円を増額するものとさせていただきます。

3 款 国庫支出金の3万5,000円の減は、障害者自立支援給付等補助金の減額でさせていただきます。

5 款 財産収入であります。減債基金の利息7万7,000円を増額するものとさせていただきます。

8 款 諸収入は、再資源化物の売却代金の実績増によりまして1,700万円の増額となったものとさせていただきます。

次に、2 ページ、歳出をお開き願います。

3 款 民生費は、前年度決算に伴い、国庫補助金の返還金14万4,000円の増額となりましたが、委員報酬で17万9,000円が減額となったため、その差し引きの3万5,000円の減額となりました。

4 款 衛生費の1,652万3,000円の減額は、ごみ処理施設、並びに最終処分場の管理運営経費の減額によるものでございます。主なものでは、ごみ処理施設の光熱水費で600万円の減額、最終処分場での水質改善によりまして、水処理用薬品代700万円の減額、そのほか入札差金360万円であります。

次に、

議案第4号 大野・勝山地区広域市町村圏計画懇話会設置条例の廃止について

御説明申し上げます。

広域市町村圏計画の策定業務廃止に伴い、同懇話会設置条例を廃止するもので、平成23年4月1日から施行いたしますのでございます。

以上4件、説明を申し上げます。

○ 議長（高岡和行君）

以上で、本日の日程が全部終了いたしました。

議案に対する質疑、並びに一般質問は30日に行います。

質問通告は、明日正午までをお願いいたします。

本日は、これにて散会いたします。

どうも御苦労さまでございました。

（午前10時53分 散会）